



神戸市立烏帽子中学校

令和6年9月20日発行 第4号

64 回生学年だより「WITH」

～ 共に学び、共に支えあい、共に感動する学年 ～

「2学期になって」の作文を読むと、64回生の皆さんがこの夏に頑張ってきたこと、いろいろな想いを抱いたこと、これからの目標を見つけたこと、多くのことが分かりました。友達や仲間の考えや学習方法が参考になることもあります。共に学び、共に支えあい成長してほしいと思います。また、今学期は、中学校最後の行事もたくさんあります。共に感動できる2学期にしましょう！

生徒作文「2学期になって」

夏休みでの出来事はこれといって特にない。ほぼ毎日、同じような生活をしてきたからだ。学校が始まると、とれもうれしいような楽しいような気持ちになっていた。改めて学校の楽しさと大変さが分かり、残り少ない中学校の行事を楽しもうと思った。

夏休み中は、毎日ロボットのように勉強を進めていた。課題もすぐに終わらせていた。勉強は苦になることも多くあるが、今年の夏休みではなぜかそれがなかった。特に、テストなどをしているときは、一番楽しい時間だと思う。難しい問題の解説ですらも楽しく思えた。振り返って考えれば、自分は勉強の楽しさを原動力にして、勉強していることに気づいた。夏休みを終えてからも、勉強やテストを楽しみ、入試に向けて頑張っていきたいと思った。

夏休み中に、僕は職業体験を行った。僕の夢は薬剤師である。勉強を頑張っているのも夢が理由の1つである。不安と楽しみが混じったような気持ちで体験を行った。体験は無事終わり、とても楽しい時間であった。帰ってからは、その体験を活かして自由研究に励んだ。一日の振り返りをして、自由研究も終わり、とても良い一日だったと思う。

中学3年生の夏休みは充実したものだだった。将来に向けた勉強や体験を行い、とてもためになる40日間であった。2学期に向けて振り返りをしっかりして、切りかえられるようにしようと思った。夏休みの努力を無駄にせず、これからの毎日頑張っていこうと思った。(2組)

私は1学期の間、受験生になったという実感があまりありませんでした。ですが、ある時を機に受験生になったのだと身に染みて感じました。それは部活がなくなった時です。1,2年の夏休みは毎日朝から晩までテニスをしていたけれど、今年は部活がなく、私の気持ちはパズルのピースが1つはまっていないような感じでした。そうして部活がなくなった時から常にラケットとボールを握っていた手はシャープペンと消しゴムに入れかわり、常にコートにおいていた体は勉強机におかれるようになりました。少しさびしいですが、部活で学んだことは無駄にはなっていないと思います。何があってもあきらめない気持ちや、望遠鏡をのぞいているときぐらい周りが見えなくなる集中力、どんなことでも1つ1つ考えながら動くことなど、これらの事は日常生活や受

験でも活かせると思います。だから、まず受験でこの経験を活かし、そして受験で新たな事を学びたいと思います。(4組)

中学3年生の夏休みは、これまでのどの夏よりも特別で、受験生にとっては今年の夏はまさに「勝負の夏」でした。まるで、砂時計の砂が急に速く落ちていくみたいに夏休みは一瞬で終わりました。この夏は、自分にとって何が大切なのかを考える時間でもあり、これからの自分の道筋を見つめ直す機会でもありました。

夏休みが始まった頃、私は胸が高鳴りながらも、どこか焦りを感じていました。受験が目前に迫っているのに成績は落ちていく一方。この夏挽回しなければ、と夏休み朝早く起きて勉強に専念するという計画を立てていました。だけど、そんな計画はうまくいきませんでした。朝は遅く起きてしまい、ダラダラすることが多くなりました。心の中では焦っているのに体は動かず、無駄な時間が過ぎて行きました。しかし、ある日、一本の動画を見て、私は勉強にすぐやる気ができました。その動画は、私と同じ中学3年生の夏休み勉強ルーティンでした。同じ年で、こんなに勉強して頑張っているのに、私はなまけている。その全然違う生活を目の当たりにして、私は勉強に火がつかしました。

これから先、私は自分の目標に向かって一歩ずつ進んでいきます。受験だけでなく、その先に待っている高校生活や、その先も見据えて、今を大切に過ごしたいと思います。(3組)

長くも短くも感じた夏休みがついに終わり、2学期が始まります。授業が始まると思うと憂鬱に感じてしまう学校だけど、久しぶりに友達に会えると思うと少しわくわくしていました。

夏季登校日、1日目。朝、友達と会い、夏休みの思い出を話しているとすぐに学校到着。校門前であいさつをしてくださっている先生たちも、いつも通り元気そうで何だか安心。教室へ向かう途中も先生や友達が元気そうに歩いていて、何だか私まで元気に。さあ、3年生のフロアに行く階段、もうすでに元気な声が聞こえてきて、帰ってきたな、という迷の感情、というか安心感、久しぶりに会ったクラスメイトは元気を通り越してうるさい中でも、私にはみんなが少し大人びたように感じました。きっと受験勉強をしていたであろうクラスメイトの雰囲気に対し少し焦りを感じた日でした。2日目の放課後、リーダー研修。私は全体会の終わりの言葉を担当していて、授業中からずっと緊張。人の前で話をするのは、どうしても緊張してしまい、話しているときも足がずっと震えていました。でも、最後までかまわずに言えて本当によかったです。2学期は行事も多いので、どんどん慣れを増やしていこうと思います。

私はこの2学期で、自分を今まで以上に成長させようと思います。今学期で生徒会としての活動も終了します。絶対に悔いが残らないように、書記としての最善を尽くします。レベルマックス目指します。2学期は、中学生生活の締めくくりに向けた大切な時期です。この半年を最高なものにするため、今の自分にできることを精一杯頑張りたいと思います。(1組)

夏休み、といえば何を思い浮かべますか。プールですか。それとも夏祭りですか。私が夏休みと言われて思い浮かべるものは、この夏を通して夏期講習へと変わりました。

私の通っている塾は、実は1日の授業時間がいつもより少なくなります。じゃあ、いつもより

楽なのではないか、そう思うかもしれません。しかし、授業時間は2分の1ですが、宿題の量は3倍です。大体は日をまたぐことになります。また、お盆の時期には朝8時半から夜6時半まで塾に詰め込まれます。最終日の夜に熱が出て、知恵熱って本当にあるんだなと感じました。

そんな中で私を救ってくれたのは、8月23日という名の休日です。この日は塾が休みだったので、今日だけは一切勉強をしない日にしようと決めていました。起きたのは11時だし、その後はひたすら絵を描いていました。あまりにも部屋から出てこなかったものだから、弟から大丈夫かと聞かれました。でも、1日だったけれど自分の好きなことをずっとできて良い息抜きになったし、明日からまた頑張ろうというモチベーションになりました。関係あるかないかは分からないけれど、その後のテストの点数も上がりました。

私が今回の夏休みで学んだことは勉強をすることが一番大事ではあるけれど、たまには休憩をしたり、自分の好きなことをしたりしてモチベーションを保つことも大事だということです。でも、さぼりすぎないように適度にして、勉強を続けられるようにしたいです。（2組）

「夏休みを制する者は、受験を制する。」と言われるように、受験生にとって、とても大切な期間でした。よく大人の方で、「もっと勉強しておけば良かった」などと自身の学生生活の勉強に対して悔いている人がいます。一方で、「勉強をし過ぎてしまった」などと後悔している人は見たことも聞いたこともありません。当然のことですが、高校受験で合格するにあたって、とても大切なことは「勉強」です。しかし、「入試や志望校について詳しくなった」「効率のよい勉強法を調べた」などは本当に勉強したと言えるのでしょうか。答えは否、これらはある種の知識に留まり、それは「勉強」ではないのです。この夏休み、受験生として膨大な時間を勉強に打ち込みました。勉強の計画表を立てましたが、それを実行しなければ意味がありません。実行できて初めて、1日の重みを知ることができ、今後の勉強の指針となります。予定を立てて実行して、反省点を見つけてそれを生かして、また予定を立てる。人によって勉強法はそれぞれ違いますが、よりよい勉強をするためにこれはとても大切です。でも、これは勉強したからこそ初めて分かることであって勉強をしなければスタート地点にすら立てません。

「目標に向かって進む」考えてみたら当然のことですが、この当然ができてない人が殆どです。この夏休み、勉強をするために必要なことを見つけて勉強に打ち込めた人は、受験生として大きなスタートダッシュが切れたはず。これから勉強に対して不安やストレスを感じたり、結果が出なくて悲しいときやつらいときがあったりしても、この夏休みに頑張った自分の姿を思い出して頑張っていきたいです。（3組）

私は、この夏休みに部活などでたくさん勉強をすることができなかったけど、色々な体験や出会いで好きなことが増えました。

部活を休んでいろいろな高校に行き、行きたいと思う高校ができて、ここも行きたいなという選択肢がまた増えました。

私は夏のイベントに参加して他校の生徒と仲良くなったり、サマースクールやALTALKにも参加したりしました。苦手な英語も好きな教科として勉強できるようにたくさんALTの先生と話してゲームをしました。私はそのALTと関わるイベントに参加した時の自信で、この夏に外国の友達ができました。まだまだ英語を話すのは苦手だけど、友達に英語を教えてもらって、私は

友達に日本語を教えて、今では英語を学ぶことがとても大好きになりました。でも、このようなたくさんの出会いと体験で、毎年満足するほど長い夏休みも川のような速さで過ぎて、もう2学期。入試やテストが近づいて来ている怖さと、勉強のプレッシャーと不安でいっぱい。私の英語への想いを変えてくれた友達のおかげで、私は気が少し軽くなりました。でも、不安は消えなくて、敵におびえる動物の気持ちがすごく分かりました。

私はたくさんの人と関わって幸せ者だなと思うし、苦手な教科も教えてくれる人がいて勉強が楽しいと思えるようになりました。今、自分が行きたいと強く思う高校に向かって全力で努力できたらと思います。

部活は文化祭まであるし、そんな少ない時間で思ったように勉強ができないことがあっても未来の自分が頑張ってたかったと思えるこの少しの期間を過ごしていこうと思います。（4組）

「高校入試なんてまだまだだ！」夏休みが始まる前、そう思っていました。実際8カ月もあったので、そう思ってしまっても無理はないと思います。しかし、まわりの大人達は、「すぐに入試はくる」と口を揃えて嫌になるほど言ってきます。そして、僕はまるで洗脳されるかのように入試はまだだとは思わなくなりました。ですが、そう思わなくなったのは洗脳ではないんだなと夏休みを振り返ってみると思いました。

今年の夏休みは疲れました。毎日勉強をしていた気がします。しかし、毎日のように勉強をしていたはずなのにやらなきゃだめなものや、やっておきたいものがあります。約40日間毎日勉強してきたのに、僕の知識には穴があり、その穴を見るたびに、全然足りていないじゃないかと感じます。40日じゃ全く足りなかったのです。入試までは日にちに直せばまだまだあるように見えますが、実際に高校入試までにやっておきたいことや、やらなければならないことなどを数えると全く足りず、そして1日でもさぼるとその分の時間を取り戻すことができないため、1分1秒さえも無駄にできません。では、その少なく限られた時間の中でどのように生活するのか。それは少しの空き時間なども「無」にせず、意味のある行動を心がけるようにしたいです。だから、2学期は家の時間と学校の時間では、自分のためになる行動を心がけたいです。

残りの時間でやるべきことがすごく多いことを分かっていたから、まわりの大人は自分自身が後悔しないように教えてくれていたんだと思いました。だから、そうやって支えてくれる人達のためにも残りの時間を大切に使いしていきたいと思いました。（1組）

<< 体育会に向けて、学級旗を作成しています！ >>

